

3-9 令和 8 年 4 月 20 日に発生した三陸沖の地震に伴う海底地殻変動観測の結果 Result of the extraordinary GNSS-A seafloor geodetic observation after the Sanriku offshore earthquake on April 20, 2026

海上保安庁
Japan Coast Guard

2026 年 4 月 20 日に三陸沖で地震 (M7.7) が発生したことを受け, 臨時の海底地殻変動観測を行った。

観測点: 釜石沖 1 (KAMS), 釜石沖 2 (KAMN)

観測日: 2026 年 4 月 24 日～25 日

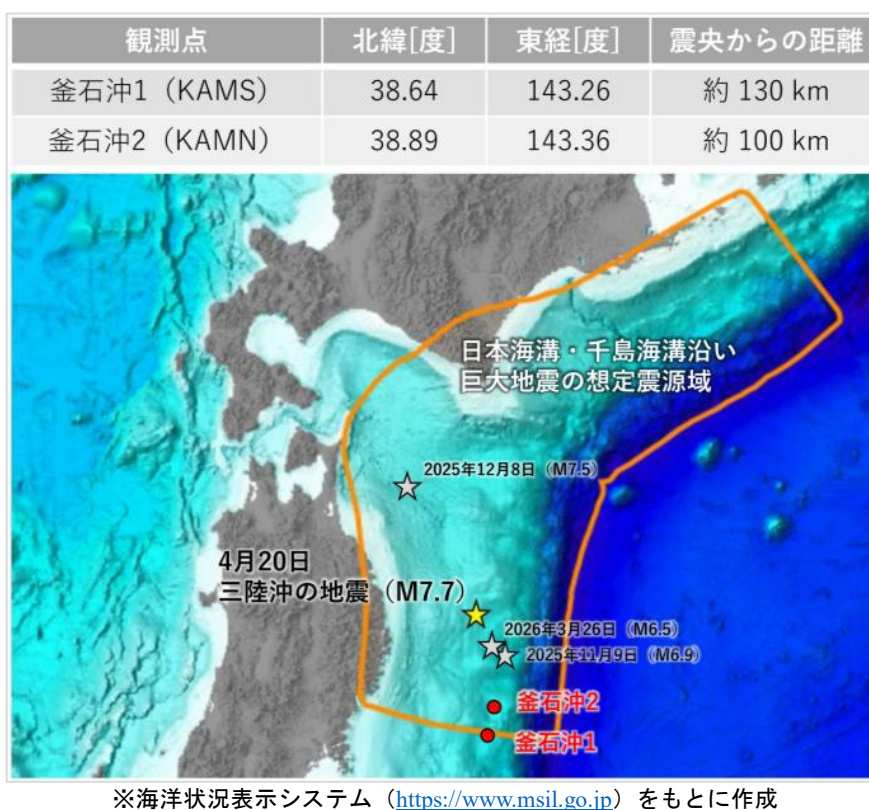
使用船舶: 測量船「昭洋」

GNSS 解析: IGS 最終暦を使用

その結果, 地震発生前後で有意な地殻変動は検出されなかった。

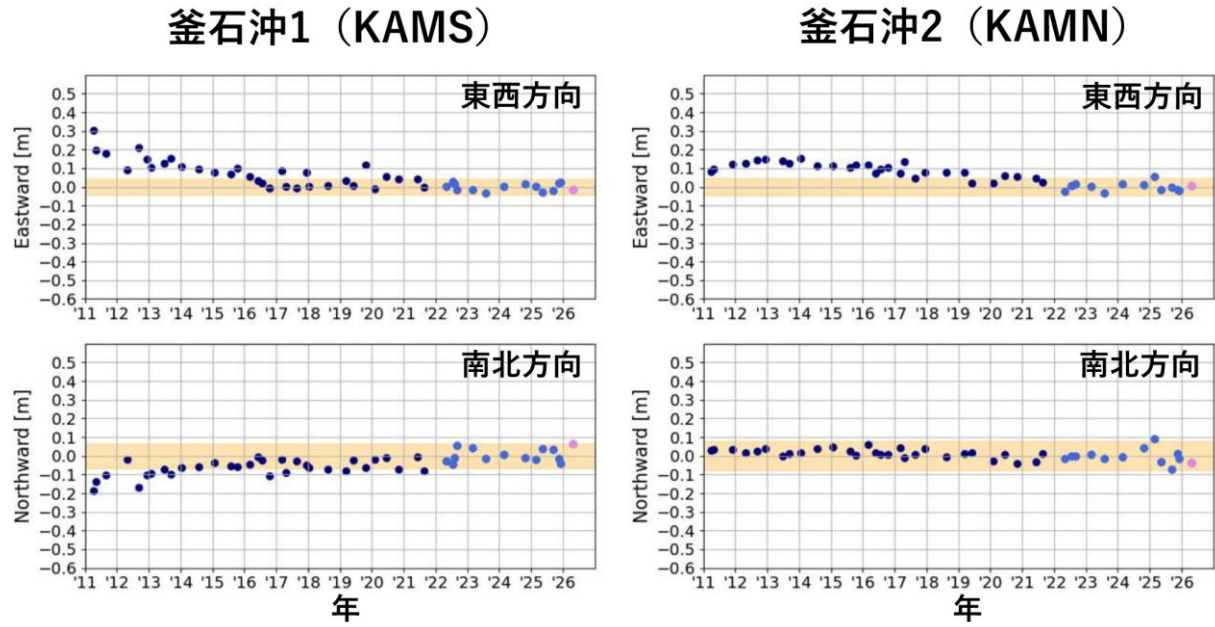
(沿岸調査課海洋防災調査室)

Geodesy and Geophysics Office, Coastal Surveys Division



第 1 図 2026 年 4 月 20 日に発生した三陸沖の地震の震央と, 海底地殻変動観測点の位置図

Fig. 1 Locations of the epicenter of the Sanriku offshore earthquake on April 20, 2026 and the GNSS-A sites operated by Japan Coast Guard (SGO-A sites).



第 2 図 東北地方太平洋沖地震以降の地殻変動時系列。最近 4 年間の動き（薄青点）を一次トレンドとして除去している。橙色の網掛け部分は、最近 4 年間の動きのばらつきの範囲（ 2σ ）を示す。

Fig. 2 Displacements at the GNSS-A sites, KAMS and KAMN, after the 2011 off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake. The linear trend obtained from the displacements of the latest 4 years (light blue points) is removed. The orange regions show the uncertainty during the last 4 years (2σ).